

当院で頸部 MRI 検査を受けられた患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものであり、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありません。また、研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。お申し出以降は、あなたの情報は本研究には利用せず、参加拒否以前に本研究のために収集した情報があれば削除します。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2002年01月01日～2020年12月31日の間に、頸動脈狭窄症が疑われ頸部 MRI 検査を受けられた患者様

【研究課題名】MRI による頸動脈脈プラークイメージングと心血管イベント・虚血性脳卒中の関連についての検討

【研究責任者】 国立循環器病研究センター 冠疾患科医師 三浦弘之

【研究の意義・目的】

本研究は、頸動脈 MRI で得られた動脈硬化性プラークの性状を解析しそれをもとに将来の虚血性心疾患や脳卒中との関連を調べていきます。これにより、発症リスクが高い患者群を同定することが可能となり早期介入・発症予防が行える可能性があります。

【利用する診療情報】

1. 基本情報：診断名、年齢、性別、身長、体重、心拍数、血圧、自覚症状、既往疾患/罹患疾患/治療歴、冠危険因子、内服薬/注射薬、喫煙歴、飲酒歴、検査・治療計画/実施内容
2. 画像検査所見・解析結果：CT・MRI・超音波検査(頸動脈・心臓)・ABI(足関節上腕血圧比)
3. カテーテル検査所見、血管内イメージング所見
4. 病理所見(頸動脈内膜摘除術後標本)
5. 心電図検査
6. 血液・尿検査データ：腎機能、肝機能、心筋逸脱酵素、BNP、CRP、血算、血糖、アルブミン、総蛋白、脂質検査、HbA1c

7. 予後（死亡・心血管疾患・脳卒中に関連する事象）

【情報の管理責任者】

国立循環器病研究センター 理事長 大津欣也

【研究期間】 研究許可日より 2030 年 03 月 31 日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

この研究で得られた情報を将来、二次利用する可能性や研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て、研究統括管理責任者の許可を受けて実施されます。二次利用する際に文書を公開する場合は、国立循環器病研究センター公式サイト（<http://www.ncvc.go.jp>）の「実施中の臨床研究」のページに掲載いたしません。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 心臓血管内科冠疾患科 医師 三浦弘之
電話 06-6170-1070(代表)